

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成29年 3月

【担当及び関係課】都市整備局青崎地区区画整理事務所

計画の名称	安全で快適な都市環境の形成と防災性の向上を図る市街地整備（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		
計画の目標	本市は、平成13年1月に策定した、広島市の都市計画に関する基本的な方針（広島市都市計画マスタープラン）において、「安全・快適で質の高い都市づくり」を基本姿勢として掲げ、それを具体化する都市整備の方針の中で、規制市街地の計画的な更新を進めることとしている。この方針に従って、本市が施行者となり土地区画整理事業を実施することで安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進するものである。		
計画の成果目標（定量的指標）	土地区画整理事業を実施することにより、家屋が移転し老朽住宅が少なくなり、公共施設も整備され防災上危険とされる密集市街地減少することを目的とする。		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値	中間目標値	
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)
施行区域内の宅地総面積及び仮換地指定済みの宅地面積をもとに仮換地指定率を算出する。 仮換地指定率＝ $\Sigma$ （仮換地指定済みの宅地面積） $\div$ $\Sigma$ （施行後の宅地面積） $\times 100$ ※仮換地指定率が増加することにより、使用収益が停止され家屋が移転されるため老朽住宅が減少する。	78.5%	82.5%	87.0%

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H22	14 百万円	<b>【基幹事業】</b> ○向洋駅周辺青崎土地区画整理事業 ・区画道路の整備 区6-5, 6, 7, 8, 9の区画道路の整備 上記について、計画どおり整備を行った。（別紙1及び別紙2の事業効果の具体事例を参照）  <b>【関連社会資本整備事業】</b> ○向洋駅周辺青崎地区（区画整理） ・都市計画道路 青崎中店線 事業区間のうち365.0mの暫定道路の整備を計画し、計画どおり整備を行った。 ・区画道路8.5-1 事業区間の44.0mの区画道路の供用を計画し、計画どおり供用した。 （別紙1及び別紙2の事業効果の具体事例を参照）
	H23	5 百万円	
	H24	239 百万円	
	H25	137 百万円	
	H26	192 百万円	
	合計	587 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	<b>【基幹事業】</b> ○向洋駅周辺青崎土地区画整理事業 ・当初の計画どおり、事業を実施し安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進した。  <b>【関連社会資本整備事業】</b> ○向洋駅周辺青崎地区（区画整理） ・当初の計画どおり、都市計画道路等の整備を実施し安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進した。		
	指標： $\text{仮換地指定率} = \Sigma(\text{仮換地指定済みの宅地面積}) / \Sigma(\text{施行後の宅地面積}) \times 100$		
目標値の実現状況	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	目標値と実績値に差が出た要因 成果目標の達成状況：目標達成
	82.50%	87.00%	
	中間実績値 (H24末)	最終実績値 (H26末)	
	89.00%	89.80%	
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況	指標：		
	中間目標値 (H0末)	最終目標値 (H0末)	目標値と実績値に差が出た要因
	中間実績値 (H0末)	最終実績値 (H0末)	

3. 今後の方針

「向洋駅周辺青崎土地区画整理事業」については、引き続き2期計画で実施し、広島市における安心・安全のまちづくり及び防災機能の向上を推進することとする。

4. その他特記事項

広島市公共事業再評価審議会（平成28年12月26日開催）における審議の結果、「事業継続を妥当と認める」旨の答申を得た。